

「エリジウム」★★★★

2013（平成25）年8月14日鑑賞＜GAGA試写室＞

監督：ニール・ブロムカンプ

マックス・ダ・コスタ（孤児院育ちのアーマダイン社の工員）／マット・デイモン
デラコート（エリジウムの女性防衛長官）／ジョディ・フォスター
クルーガー（デラコートの手下、元凶悪犯のエージェント）／シャールト・コブリー
スパイダー（ロサンゼルスの実社会を仕切る闇商人）／ワグネル・モウラ
フレイ（マックスの幼なじみの女性、看護師）／アリス・ブラガ
フリオ（マックスのかつての強盗仲間）／ディエゴ・ルナ
ジョン・カーライル（アーマダイン社のCEO）／ウィリアム・フィクナー
パテル（エリジウムの総裁）／ファラン・タヒール
マチルダ（白血病末期にあるフレイの娘）／エマ・トレンブレイ

2013年・アメリカ映画・109分

配給／ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

<まずはニール・ブロムカンプ監督の世界観に注目！>

南アフリカのヨハネスブルグ生まれの若手監督ニール・ブロムカンプのデビュー作となった『第9地区』（09年）は、そのユニークな世界観で大ヒットし、作品賞、脚本賞などアカデミー賞4部門にノミネートされた（『シネマルーム24』30頁参照）。そんな彼の、2作目となる本作にみる世界観は？本作が描く時代は、

今から約150年後の近未来である2154年。21世紀末から続く環境汚染と人口増加によって、地球は荒廃と混乱が加速。その結果、地球には汚染と貧困の中で

生きるしかない多くの貧者が住み、400キロメートル上空に建造されたスペースコロニー「エリジウム」では、約90万人の超富裕層が豊かな生活を送っていた。

医療技術が進んだ150年後の「エリジウム」では、人間は年をとらず、病気やケガをしても、医療ポッドに入れば、すぐに完治するらしい。

中国での貧富の格差はムチャクチャだが、2011年9月にニューヨークで起きた「ウォール街を占拠せよ」（Occupy Wall Street）運動のよう

に、昨今はアメリカでも日本でも貧富の格差を糾弾する声が強い。しかし、環境汚染と人口増加がこのまま進めば、150年後の地球はニール監督が描くような現

実になっている可能性が高いだろう。それはそれとして十分想定可能だが、一握りの超富裕層のためにエリジウムが建造されているという設定が『第9地区』と同じ

ようにユニーク。このように、本作についてはまずはニール監督の世界観に注目！

<これぞ、弱り目にたた目！本作の主人公は？>

そんな地球上のロサンゼルスにある孤児院で育てられたマックス・ダ・コスタ（マット・デイモン）は子供のころは多くの犯罪に手を染めていたが、大人になった今は大企業アーマダイン社のロボット製造ライン工場で真面目に働いていた。しかし、いつものように朝早く起き、出勤のため通勤バスを待っていると、そこに登場したのは警備ロボット。なるほど、今から150年後の地球上の人間はこんな警備ロボットに監視されているわけだ。民主主義国家の権化のような今の日本では考えられないが、明治時代の日本では「オイコラ警察」というのがあったが、本作に

みる警備ロボットの横暴ぶりはそれ以上。つい反抗的な態度をとったマックスも大人気ないが、これによってマックスは左腕を骨折させられたうえ、保護観察所に出

頭するよう言い渡されたから大変！さらに病院での治療と保護観察所への出頭のため出勤が遅れると、所長から罵倒された挙げ句、「半日分給料を差引く。働ける

だけでもありがたいかと思え」とのお言葉が。

それくらいなら「まだ仕方なし」と我慢できるかもしれないが、次の日に出社し、いつものように作業についたマックスがきっちり閉まらないドアの不調を訴え

ると、所長は「中に入って自分で直せ」とムチャな命令を。しかし、核融高炉の中に入って作業するのはかなり危険なのでは？案の定、仕方なく核融高炉の中に入っ

て作業をしていたマックスは、部屋の中に密閉されたうえ大量の放射線を浴びてしまったから、こりゃ大ゴトだ。その治療として、マックスは身体をかううじて機能

させる劇薬マイボロル錠剤を受け取ったものの、即日会社をクビになるとともに、余命はあと5日間という過酷な宣告を。まさに、これではマックスは弱り目に

たた目！

<権力闘争はいつの時代にも！このクーデターの成否は？>

人類の歴史はある意味で「権力闘争」の歴史だから、いくら科学技術が進歩して

も権力闘争はなくなることが、本作を観ているとよくわかる。また、いくら大

多数の下層民による地球の生活と、一握りの超富裕層のエリジウムにおける生活を

「区別」しても、時としてその境界を侵そうとするヤツがいるのも世の常だ。ニール監督は本作の序番で、地球から3機の未確認シャトルに乗ってエリジウムへ亡命

しようとする人間たちの姿を描き出すが、それを阻止するのが、エリジウムの女性

防衛長官たるデラコート（ジョディ・フォスター）。もっとも、デラコートがこの

未確認シャトルの撃墜を地球上に住んでいる元凶悪犯のエージェント、クルーガー

（シャールト・コブリー）に命じたのはいかがなもの？こんな怪しげな奴を使わな

くても、防衛長官ともなればいくらでもエリジウムに不法入国しようとするシャトル

を撃墜する方法はあるのでは？そのうえ、エリジウム総裁のパテル（ファラン・

タヒール）がそれを厳しくデラコートに問いつめると、デラコートはそれに強く反

発したから、こりゃエリジウム内部の権力闘争もかなりのものだ。

本作後半は、そんなデラコートがアーマダイン社のCEOであるジョン・カー

ライル（ウィリアム・フィクナー）と手を結び、エリジウムのすべての機能を一度

ダウンさせた後にリポートさせることによってパテル総裁を打倒し、自分の権力を

樹立するクーデター計画の成否がポイントになる。もともと、カーライルがCEO

をしているアーマダイン社がエリジウムを建造したのだから、そんなプログラムの

書きかえを行うことくらいは簡単なこと。デラコートがクーデターによって新総裁

になる見返りとしてカーライルに与える報酬は、これから200年間の契約延長

だ。そんな「密約」が成立したが、当然これは極秘。そこで、カーライルはそのデ

ータを自分の脳の中にインプットして再び地球に戻ったが、さてそんなクーデター

の行方は？

<上に「政策」あれば、下に「対策」あり！>

「上に政策あれば、下に対策あり」。これは、中国の有名なことわざだ。その意

味は、いくら上が国家権力を使ってアレコレの「政策」を庶民に命じても、どっ

こい下の庶民にはそれを無視したり、抜け道を探したり、場合によれば上を買収し

たり、反逆したり、さまざまな「対策」があるということだ。私がそんな中国のこと

わざを思い出したのは、文字どおり絶体絶命の危機に陥ったマックスが、かつての

強盗仲間だったフリオ（ディエゴ・ルナ）の紹介で、ロサンゼルスの実社会を仕切る闇

商人スパイダー（ワグネル・モウラ）と手を結び、壮大な「対策」を決めたから

だ。

エリジウムへの二セのチケットと二セのIDを用意する見返りとしてスパイダー

がマックスに求めたのは、エリジウムに住む金持ちの脳データをそっくりマックス

の脳にダウンロードすること。そのデータの中に含まれる銀行口座などの情報を入

手することによって、その金持ちの財産をそっくり手に入れようという計画だ。な

るほど、なるほど。「余命があと5日」に迫っているマックスにはそれを承諾する

しか選択肢がなかったのは当然だが、そこでマックスがターゲットに選んだのは憎

んでも憎みきれないアーマダイン社のCEOカーライル。しかし、今カーライルの

脳の中には、銀行口座などというチャチな情報ではなく、エリジウム全体の機能を

いったんダウンさせた後、リセットするためのデータが入っているはず。したがっ

て、マックスがそれ入手し、スパイダーがそれを活用すれば、ひょっとしてエリ

ジウムをすべての地球の人々に解放することができるのでは…？まさに上に「政

策」あれば下に「対策」あり。

今マックスは、スパイダーの手によって脳の切開手術をうけて脳データがダウン

ロードできる機能を持たされるとともに、二セのIDを腕に焼付け、さらにエクソ

スーツと呼ばれるマシンを身体と結合させ、あたかもサイボーグのようなボディと

なって、カーライルと対決することに。

<恋模様は意外な展開に・・・？>

孤児院で育てられたマックスは、同じシスターに育てられた幼なじみの女の子フ

レイ（アリス・ブラガ）に対して「いつか僕がエリジウムに連れて行ってやるよ」

と約束していたが、現状に照らせばそんなことは夢のまた夢。骨折した腕の治療を

受けたことによって、今は病院で看護師として働いているフレイと再会できたマッ

クスは何とかコーヒーだけのデートの約束をとりつけたが、その後のマックスの状

況の激変によってデートの実現は不可能に。他方、デートの約束の際、フレイは

「私の人生はかなり複雑なの」と言っていたが、さてその意味は？

それが明らかになるのは、マックスがフリオらと共にシャトルに乗ったカーライ

ルを襲った際、マックスが命からがらその場を逃げフレイに助けを求めにきた時

だ。マックスたちはカーライルの襲撃に成功し何とか彼の脳データをダウンロード

したもの、デラコートの命令で救援にかけつけてきたクルーガーたちの反撃によ

ってフリオは死亡し、マックスも瀕死の重傷を。病院で治療できないフレイは、マ

ックスを自宅に運び込んで何とか治療を施したが、何とそこにはフレイの一人娘マ

チルダ（エマ・トレンブレイ）が。秘かにフレイとの結婚を夢みていた（？）マッ

クスは、これを見てすぐに出ていこうとしたが、そんなマックスに対してフレイは

「娘は白血病末期なの」と打ち明けた。そして、何としてもマチルダをエリジウム

に連れて行き、医療ポッドの治療を受けさせなければならないことを訴えた。なる

ほど、これがフレイが自らの人生を「複雑なの」と言っていた理由なのか。

マックスは自分の腕に二セのIDを焼付け、またエリジウム行き二セのチケッ

トを持っているが、いくら望んでもフレイとその娘マチルダを同行させるのは無

理。しかし、傷ついたマックスを執拗に追跡してくるクルーガーがフレイの自宅を

襲い、フレイとマチルダはクルーガーに連れ去られたから、マックスは否応なく再

度クルーガーと対決せざるをえないことに……。しかし、まずはその前に、自分

の脳の中にインプットしたカーライルの脳データをスパイダーの元に届け、ダウン

ロードしなければ。そしてまた、自らの命が尽きる前にエリジウムまで飛んでい

き、医療ポッドに入って奇跡を起こしてもらわなければ……。そのうえさらに、

フレイとマチルダをエリジウムに連れて行き、マチルダを医療ポッドに入れて白血

病を完治させ、フレイとの結婚まで進めば最高ののだが、本作に見る恋模様は意外

な展開に……。

<この男はスパルタカスやイエス・キリストに・・・？>

エリジウムに住むことができる人間は年をとらなくなっているそうだから、設定

では108歳の女性防衛長官デラコートを演じるジョディ・フォスターも、役職相

応の貫録を見せている。もっとも、『タクシードライバー』（76年）で当時13

歳にして12歳の娼婦アイリス役を見事に演じた彼女や、『告発の行方』（88

年）、『羊たちの沈黙』（91年）で見た若々しい魅力あふれる彼女に比べると、

やっぱり年齢的衰えは隠せない……。？そんなデラコートが地球からの移民を禁止

する「反移民法」の成立に執念を燃やしたのも、また、現在の穏健派のパテルにと

って代わってエリジウム総裁の地位を奪おうとしたのも、あくまでエリジウムの平

穏を最優先に考えたため。つまり、彼女は一握りの超富裕層を守ることが国益と考

えたわけだ。それはあたかも、ローマ帝国時代にローマ市民を守ることが国益と

し、奴隷はいくら犠牲にしてもかまわないと考えていたのと同じだ。私が中学生の

時に観たカーク・ダグラス主演の『スパルタカス』（60年）では、スパルタカス

が主導した奴隷たちの反乱は鎮圧されたけれども、奴隷たちの結束は固まった。ま

た、『キング・オブ・キングス』（61年）では、イエス・キリストはローマ帝国

に捕えられ磔にされたけれども、その後貧しく虐げられた人々の心の支えとなっ

た。そう考えると、マックスやフレイ・マチルダ母子のように虐げられ、かつ医療

ポッドでの治療を不可欠としている地球人にとっての、スパルタカスやイエス・キ

リストは一体ダレ？

本作後半は、エリジウムの超富裕層の人間の脳データをダウンロードすることに

よって大金持ちになろうと考えた闇商人スパイダーの計画を、自分の身体を張って

実践した余命5日の男マックスが、貧しき地球人たちの救世主になれるかどうか

に焦点が移っていく。すなわち、今マックスの脳内にダウンロードされたカーライ

ルの脳データには、エリジウムのすべての機能を一度ダウンさせた後リポートさ

せるデータが入っているのだから、スパイダーがそれに一細工加えれば、地球人をす

べてエリジウムの市民に切りかえることもできるはず。また、警備ロボットにそう

命ずれば、マックスが受けたようなひどい「オイコラ警察」状態もなくなってしまう

はずだ。もっとも、そんなに一時にエリジウム市民が増えれば、再びエリジウムが

「第二の地球」になってしまうのでは？たしかにそんな不安もあるが、それは次の

問題とし、本作のクライマックスでは、マックスがスパルタカスやイエス・キリス

トになれるのかどうかをしっかりと見定めた

い。